

病気と闘う子どもたちのための寄付金の使い道を募集します

日本医療保育学会理事長 中村崇江

平素から医療が必要な子どもたちのためにご献身いただき、感謝いたします。

この度、シンガーソングライターBOZZの坪内貴広様より、病気と闘う子どもたちのためにと5万円の寄付をいただきました。

坪内様は心臓病のファンの女の子との出会いをきっかけに、音楽を通して寄付をするために制作したCD100枚分の売り上げを海外移植が必要なお子さんに寄付されましたが、その一部を長嶋先生の推薦する病院にと託され、長嶋先生から日本医療保育学会にお話をいただきました。

日本医療保育学会では、寄付をしてくださった坪内様の思いを大切に、子どもたちに直接届くような使い道を考え、学会員の皆さまに広く募集をすることといたしました。皆様におかれましては、趣旨をご理解いただき、是非、ご応募ください。応募が多数の場合は内容を審査し、ふさわしいと判断される方を選考したいと思います。

<募集要項>

募集の趣旨：病気と闘う子どもの幸せにつながる活動

応募額上限：5万円（応募状況により全額の配分とならない場合もあります）

応募の方法：下記URLより必要事項を記載し、8月末日までに送信をお願いします

応募 URL：<https://forms.gle/FQjMUCzJ7C9tB4te8>

問い合わせ：日本医療保育学会寄付応募事務局（fazuta@fujijoshi.ac.jp）まで

<坪内様から長嶋先生へのメッセージ>

きっかけは、僕たちBOZZのファンである若い女の子が心臓病で亡くなってしまった事をきっかけに、音楽を通じて寄付をしようと始めました。

実際に、海外で移植が必要なお子さんの寄付活動を駅前でお手伝いしたり、ご両親にお会いして話を聞かせてもらいCDと売上金をお渡しするなど行なって参りました。現在75枚分の寄付をし、残り25枚分をどうしようかと、相方と考えていました。そこで考えたのが、小児科に携わる長嶋先生の元に寄付をしたいと言う事でした。今、こんな時だからこそ医療従事者に、そしてそれが小児科であり、何より僕を救ってくれた先生がお勤めする病院に寄付出来る事が、僕らにとって何よりだと考えました。

CD 25枚分なので、金額は¥50,000-と大変少額ではありますが、CDの中に記載してある協力してくださった皆様の思いもありますので、是非とも長嶋先生のお勤めする病院に寄付させてもらえないでしょうか。

<長嶋先生からのメッセージ>

坪内様がクラウドファンディングで寄付を集めCDを制作する際、“病気と闘う子供達にCD100枚分を寄付すること”をテーマにされたそうです。現在は関東でBOZZという名前でシンガーソングライターとして活躍されています。